

2月の行事について

ゆり組さんと安西小学生との交流会は、このコロナ禍で1年生、5年生とも中止となりました。小学校に出かけて行って、お兄さんやお姉さんと関わり、小学校のことを色々教えてもらうことを楽しみにしていたので残念です。

5年生には、保育園で一緒に遊んだり、絵本を読んでもらったりしたお礼にプレゼントを作り、持って行こうと安西幼稚園と相談しています。

新型コロナウイルス感染拡大の防止について

- 新型コロナウイルス感染症は遠い存在だと思っていましたが、オミクロン株は感染力が強く、どこで発症しても珍しくないものになってきました。保育園でもしばらく給食の提供ができずご迷惑をおかけいたしました。また、自宅待機をお願いしているクラスもあります。今まで以上に感染防止に取り組んでまいります。
- 国が発信していることは、こまめな手洗い、消毒、換気、そしてマスク着用です。職員、ゆり組さんはマスクを着用して生活しています。他の小さいクラスは、マスクをつけることはしんどいのではないかと判断し、つけていませんでした。しかし、保育園での感染が疑われる事例があったことから、すみれ組、ひまわり組も全員マスクを着用することとし、お願いいたしました。慣れないと、息苦しさを感じたり感触の違和感があったりすると思います。少しずつ慣れてくれればと思います。

安西小学校の先生に、「1年生に上がるまでに身につけておきたい力」について教えていただきました。

○生活をしっかり作る。

生活リズムを作るのはもちろんのこと、衣服を着替える、ご飯を食べる、歯磨きをする、といった生活を、自らがやろうとし、やりきることができる。

○意欲を育てる。

下手でも、やろうとする気持ちを大切に作る。

○ルールを守る。

自分の身を守るためのルールであることを知らせていく。

○腰骨をたてて座る。

椅子の背によりかかった座り方をしない。

腰骨をたてて座ることで、話がしっかり集中して聞けるようになる。

以上のようなお話を聞きました。

話を聞きながら、1年生になるから…、ゆりくみ組さんだから…と身につけさせようとしても、すぐに身につくことではありませんね。小さいときから繰り返し繰り返し丁寧に関わり、子どもたちの思いを受け入れ、寄り添っていくことの積み重ねではないかと感じます。

集中力の土台を作ることも同じことが言えます。

- ・探求心を育てる。 ・「なぜ？どうして？」を大切に子どもが質問をした時は丁寧に答える。
- ・子どもに決断させる。難しいようなら何点が候補をあげ選ばせるようにする。 ・達成感を味わわせる
- 親は子どもにあったレベルを知る。 ・頑張ったことをほめる。頑張ったその努力をほめる。・健康に気を付ける。規則正しい生活リズムを保ち、朝食もきちんと食べる。 （幼児教育ガイド…上野緑子氏